



VOS

No.213

April 2020



ようこそ 長岡技術科学大学へ!

Welcome to Gidai!

Page 02

新入生歓迎!

学長からのメッセージ/各専攻長&先輩からのメッセージ

Page 13 全国高専めぐり

Page 14 キャンパスマップ

Page 16 ギダイニュース・編集後記

Page.13 シリーズ

全国高専めぐり

米子工業高等専門学校



Message

入学おめでとう

長岡技術科学大学 学長 **東 信彦**
Azuma Nobuhiko

新入生の皆さん、入学おめでとう。長岡技術科学大学の教職員を代表して、心より歓迎いたします。またこれまで支えてくれたご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。様々な出身地や経歴の皆さんが親元を離れてこの長岡の地で勉学や課外活動に打ち込むことになります。海外から母国の期待を一身に背負って入学した学生もいるでしょう。皆さんの今後にとってはかけがえのない貴重な時期です。本学での学習や経験、知人・友人が今後の人生で大きな宝となるでしょう。是非、多くの出会いの場で、多くの友人を作ってください。大学時代の友人は生涯の友となるはずですよ。

さて、大学というところは、皆さんが実社会に出るために最後の準備をするところでもあります。今まで皆さんが学んできた小学校、中学校、高専或いは高校とはかなり違う所と言うことをまず認識して頂きたいと思えます。その一番の違いは、大学は学生に知識を教えるのが目的ではなく、学生自身に「考え出す力」を付けさせるのが目的であるという点です。皆さんはこれまで、答えの分かっていること、つまり既知である知識を覚えこみ、沢山の知識を溜め込んだものが成績優秀者として褒められていたと思えます。しかし、実社会では、知識の競争ではなく、智慧、つまり考え出す力の競争です。従って次世代を担う皆さんは、ただ単に教えられることを覚えるのではなく、絶えず疑問を持ち、その本質を

徹底的に考究するよう努めて欲しいと思えます。そして、各自が個性を發揮し、独創性を持ち、自ら行動し、世の中に貢献する指導的技術者を育てるために、大学は自主性と、自由と、自律を最も尊重し支援します。

本学は、長年におけるグローバルな実践的技術者教育を行ってきたことが認められ、2018年に国連からSDGs(持続的な開発目標)の目標9(産業と技術革新の基盤をつくろう)のハブ大学に任命され、ユネスコから技術SDG工学教育拠点に認定されています。また、文部科学省の「卓越大学院プログラム」にも採択されたことにより世界レベルの教育・研究を行う環境も整っています。

皆さんは、日本国内だけに拘らず、世界をフィールドに多くのことにチャレンジし、グローバルに活躍するエンジニアを志して欲しいと思えます。どんどん海外に出て行って国際人となり、多くの価値観や思考、教養、文化を涵養してください。真の国際人になるためには日本の歴史・文化・特長をよく理解していることも重要です。長岡の四季折々の美しい風景を味わい、地域の方とも積極的に交流してみてください。

これからこの長岡で過ごす数年間はかけがえのない貴重な時間です。大きな夢と好奇心を持ち、失敗を恐れず、挑戦の気持ちを忘れないタフな人間を目指して、充実した日々となることを祈念いたします。

Message

新たな発想で未来を創造する力を

長岡市長 **磯田 達伸** Isoda Tatsunobu

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

長岡市は、日本一の大河・信濃川を有する、自然豊かな人口27万人のまちです。市内には4つの大学と高専、15の専門学校が立地し、産業では、工作機械や金属加工など、高度なもののづくり企業が集積しています。

長岡技術科学大学は、開学当初から実践的な技術の開発を主眼とした教育研究を行い、企業が抱える課題の解決に取り組むなど、地場産業の発展に大きく貢献していただいております。

長岡市では、産学官金の連携による新たな産

業の創出と、次世代を担う人材の育成に取り組んでいます。人口減少をはじめあらゆる側面で急激な変化を迎えている今、新しい発想で未来を創っていく力が求められています。

皆さんには、大学での学びと研究を通して、さまざまなことに積極的に挑戦していただきたいと思えます。そして、各分野で個性を生かし、地域や産業をけん引する人材として成長されることを期待しています。

結びに、皆さんの未来が前途洋々たるものとなりますことを心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



Message

小さな力の上に

留学生支援ボランティアグループ むつみ会 会長 **石山 文枝** Ishiyama Fumie

留学生の皆様御入学おめでとうございます!

むつみ会が留学生支援を始めた31年前、留学生は63名でした。当時の学生達は現在、各国で様々な分野で活躍されています。昨年4月、春のバザーを開催した日、その当時の学生が研究で多忙の中、家族を連れて大学を訪れてくれました。長岡で生まれた長女と共に家族4人での訪問、嬉しい再会でした。その留学生は在学中の思い出を子供達に語りながら、学校内を案内してい

ました。「ここで生活する上でむつみ会のバザーは大きな支えでした。」と31年間続くバザーに思いを馳せていました。長岡に住む外国人も増加し、地域との交流も多くなっています。手軽に情報を得られる社会ですが、私達はこれからも日本文化体験、バス旅行、日本語スピーチコンテスト、毎週水曜日交流ラウンジでの生活相談支援等を行い、小さな力ですが、少しでも安心して暮らして行けるように、皆様に応援していきたいと思えます。



Message

入学おめでとうございます

同窓会 会長 **磯部 広信** Isobe Hironobu

皆さん、長岡技術科学大学へのご入学おめでとうございます!そして、長岡技術科学大学を選んできたことに感謝するとともに、本学を選んだあなたは非常に幸運であることをお伝えしたいと思います。

新しい学生生活、色々な不安を感じている方もいるでしょう。でも、本学には、生活面、学習面どちらも大変充実した学生サポートシステムがあります。間違いなく、落ち着いて勉強できます。安くて美味しい学生食堂、必要な物が全て揃う売店など大満足です。

しかし、それに満足せず、積極的に色々な体験をしてください。例えば、様々な部活動があります。(一部の部活動名しか出せなくて申し訳ないのですが)日本の伝統的な文化が体験できる「茶道部」、日本酒を

学び楽しむ「しゅがく」、和太鼓を愛する「つるかめ会」、道を極める「剣道部」「合気道部」「柔道部」「空手道部」「弓道部」「少林寺拳法部」等々。よく調べ、自分に合ったサークルを見つけてください。

また、長岡市の皆さんはとても温かく接してくれます。買い物に行ったら、食材の使い方がわからなかったら、隣にいる人に聞いてみてください。丁寧に丁寧に教えてくれます。

在学中に、大好きなこと、大好きな人を見つけて、長岡技術科学大学を、長岡を、新潟を、日本を第二の故郷と思ってもらえる大変嬉しいです。

本当に、ご入学おめでとうございます。そしてありがとうございます!



Message

専攻長より

基礎を学び、研究を楽しむ

機械創造工学専攻長 教授 井原 郁夫 Ihara Ikuo

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長岡での学生生活が皆さんにとって有意義なものとなるよう心より願っております。

さて、大学は教育機関であると同時に研究機関でもあります。したがって、皆さんは本学で何らかの研究に取り組むことになります。どのような研究であれ、その分野の最先端に触れ、その担い手となることは人生の中でかけがえのない経験になります。是非、研究の機会を楽しみに行ってください。

ところで、スポーツやファッションと同様に、研究にも「流行」があります。最近では「社会ニーズに適合する研究」や「イノベーションに繋がる研究」を指向するのがトレンドのようです。時流に乗った研究は華やかで魅力的です。しかし、科学技術におけるイノベーションの歴史を振り返ると、流行を追わない研究が社会にインパクトを与える成果に繋がったという事例は少なくありません。例えば、現在脚光を

浴びているAI(人工知能)ですが、その急速な発展と実用化を可能にしたのは深層学習という手法です。実は、この手法は3人の研究者がニューラルネットワークの研究に取り組んだ成果として生み出されたものです(その功績から、この3人は2018年度の計算機械学会チューリング賞を受賞)。注目すべきは、彼ら3人がニューラルネットワークの研究に取り組んだ1990年代当時、彼らの研究は「時代遅れ」と見なされていたという点です(ニューラルネットワークは1950年代に研究されており、1990年代にはそれは過去の研究と見なされていた)。結果的には、流行に囚われず、自らの好奇心の赴くままに研究を続けることでイノベーションが創出されたわけです。皆さんが研究に取り組む際には上記のことも参考にして頂ければと思います。研究を通じた皆さんの成長が本学の発展に繋がります。まずは基礎力を身に付け、その上で研究を楽しんでください。



Message

専攻長より

流行に流されず“美しい”と感じる感性を

電気電子情報工学専攻長 教授 小野 浩司 Ono Hiroshi

新入学おめでとうございます。電気電子情報工学課程・専攻を代表して心より歓迎いたします。最高学府である大学は、皆さんにとって社会に船出するまさに最終段階にあたる大切な時期であると考えます。その大切な期間に、多くの友人を作り、本学の特徴ある教育プログラムである実務訓練や海外連携を通じ社会への理解を深め、自ら考える力を身につけ“美しい”と感じる技術を自分なりに涵養していただければと思います。

本学の特徴である実践的技術者教育にもし欠ける危険性があるとすれば、「実践的」という言葉を誤解し、とかく目の時流、すなわち「はやり」を追い求めることに夢中になり、その時流の根底に脈々と存在している「原理原則」を忘れてしまうことだと思います。現在の技術開発の主たる時流は、人工知能やIoTの発展による様々な分野での生産性の向上、地球環境の変調に対応する

総合技術の展開、の2点にあると考えますが、そのあまりに早い展開の中で原理原則に立ち返ることを怠ると、本当に自分が“美しい”と感じ、生涯をかけるに値する分野を見失うこととなります。技術開発にとって大切なことは、多様な能力や幅広い基礎知識もありますが、「原理原則」に裏付けされ、この技術は“美しい”と感じられる感性が重要です。技術開発においては、様々な逆境に遭遇しますが、最後までそれを成し遂げられるかどうかにおいて、担当技術者が、その技術の“美しさ”に惚れていることが大きな要素となり得るからです。

今後の皆さんの輝かしい人生が、「原理原則」に立ち返る習慣を身につけることにより、長岡技術科学大学で体験する実践力のある「考える力」に磨きをかけ、さらに充実した技術者・研究者として成長されることを祈念致します。



Message

先輩より

成果∞能力×時間

機械創造工学専攻2年(石川工業高等専門学校出身) 小川 曜史 Ogawa Yoji

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新生活が始まり、慣れないことも多々あると思います。ここ長岡は山と海に囲まれており自然豊かな町です。全国有数の米どころでもあり日本酒文化が盛んです。他にもラーメン屋さんも多いので友人達とあちこち巡ってみたいはいかがでしょうか。

さて、皆様は本大学でどのような学生生活を送ると考えていますか。勉強や研究では、頭を使うことが重要となり、ただ頑張るだけでは上手くいかないことがあります。成果は、能力に対してどれだけの時間を費やしたかによります。そのため、時間の限られた大学生活の中で成果を出すためには、いかに自分の能力を高められるかが鍵となります。本大学の特色のある技術教育は、自身の能力を高める手助けになると思います。例えば、学部4年生の2

学期に実務訓練があります。およそ5ヶ月間、国内または海外で企業の一員として活動することになります。これは、将来を見据えた成長の機会であり、大学内の生活では得られない貴重な経験ができます。

長岡技術科学大学で多くの経験を積み、有意義だったと考える学生生活を過ごせるように頑張ってください。皆様のより一層の成長ができるよう、切に願っております。



研究室メンバーでお花見

Message

先輩より

挑戦し続ける学生生活を

電気電子情報工学専攻2年(新潟県立長岡大手高等学校出身) 小海 祐揮 Kokai Yuki

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活という新たな環境に期待で胸を膨らませていると思います。折角の大学生活を悔いのないよう過ごすためにちょっとしたコツを教えます。1つ目は、多くの人と交流を楽しむことです。気が合う仲間は学園生活を楽しく送るのに必要不可欠であり、新しい環境での生活に慣れるきっかけとなります。先輩・先生方から経験談を聞くことで自分の抱える不安の解消に繋がるはずですが、2つ目は、機会を得たなら考える前に行動することです。様々な人と交流をしていくと自分が今まで経験したことのない体験をする機会が多くあります。その都度考えている時間は足りない、考えることはやりながらできます。

せっかく掴んだチャンスを捨てるのがないようにしてください。

最後に僕の好きな言葉を送ります。「誘われた時点で“〇〇”してくれる人募集」という選考に受かっていることを意味する。能力でなく信頼に得られたチャンス。応募するより誘われる人生の方が、僕は断然好きです」by 渋谷修太

皆さんもこの大学生活で得たチャンスに挑戦し続け、悔いのない最後の学園生活を送ってください。



Message

専攻長より

スタート台を目指して

物質材料工学専攻長 教授 竹中 克彦 Takenaka Katsuhiko

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。物質材料工学課程ならびに専攻を代表して皆さんを歓迎いたします。本課程は、化学を基盤とした専門教育、技術教育を通して、主として化学の分野で新材料の開発を行える指導的技術者並びに研究者の養成を目的としています。皆さんが在学期間を通じて一人の技術者、研究者としてスタート台に立てるよう、教職員一同応援していきたいと思っております。

さて、昨年(2019年)は、化学を研究分野としている者にとっては久しぶりに「化学」を身近なものとして感じていただけの年であったと思います。それはノーベル賞で化学賞を企業の研究者であった吉野彰さんが受賞され、その業績が日々の生活に欠かすことの出来ないものとなっているリチウムイオン電池に関するものであったからです。この電池が発明されていない

えられず、恐らく都会を走る電車の車内の風景は現在とは大きく変わっていたでしょう。その一方、リチウムは資源としてそれほど多いものではなく、より安価で資源量の多い金属を用いた電池の開発も進んでいます。その他に液晶画面の心臓部ともいえる液晶素子、パネルを形成する偏光板、細かな指の動きや接触を感知して命令を受け取るタッチパネルとそれを守る保護フィルムなど、スマホに用いられているキーテクノロジーはどれも化学をベースとする材料にそのルーツがあります。スマホはそれらテクノロジーの塊であると同時に、機械との付き合いでは得ることの出来ない人間関係を構築するための有用なツールでもあります。それらを使いこなしながら、皆さんが一つでも多くの知識を習得し、経験を積んで旅立っていただけることを願っています。



Message

専攻長より

新入生の皆さんへ

環境社会基盤工学専攻長 教授 陸 旻皎 Lu Minjiao

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。環境社会基盤工学専攻教職員を代表して、皆さんを心から歓迎します。今年の冬は記録的な暖冬で、桜の開花も早くなることを予想しています。極めて珍しく桜咲く入学式で新入生の皆さんをお迎えできることを楽しみにしています。

環境社会基盤工学課程・専攻は、健全な社会・文化・経済活動を支える種々の社会基盤施設を、環境との調和を図りつつ適切に計画・設計・建設・維持するための専門知識、及び総合的かつグローバルな視点からサステナブルな社会へ貢献し、巨大災害へも対応できる実践的・創造的能力を備えた指導的技術者・研究者の育成を目的としています。そのような技術者・研究者になるために、受け身的に講義を受けるだけではなく、知識を、貪欲に吸収し、懐疑的な視点で反芻し、自分のものにすることが

重要です。勿論、知識の取得だけでは不十分です。これからは人類は「記録的」、「稀に見る」、「未曾有」を冠した事象に多く遭遇するでしょう。基本的そして本質的なところを押さえ、知識をフル活用できる応用力、そして新しい問題を解決する新しい知識や想像力を身に着ける自己成長力が不可欠です。文理問わず、分野問わず、様々な知識を吸収し、活用することがその一助になるでしょう。また、多様な自然・文化・歴史・環境に接し、様々なバックグラウンドを持つ教員・学生と交流することも問題解決の新たな視点を与えてくれるかもしれません。「以不変応万変」(不変に以って万変に応ず)と言う言葉にあるように、どんな変化にも対応できる技術者に今後成長していけるように、在学中に基礎体力を身に着けることを期待しています。



Message

先輩より

新入生に向けて

物質材料工学専攻2年(小山工業高等専門学校出身) 岩崎 迅 Iwasaki Jin

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心から歓迎いたします。多くの方は地元を離れ、一人暮らしを始めることに不安と期待が入り混じっていることと思います。私も入学当初は一人でやっていけるか不安を感じながらも初めての一人暮らしに心躍らせていた覚えがあります。

大学生活は高専や高校よりも非常に自由度が高いものとなっています。誰かに行動を制限されることもなく、全て自分の意志で決定していくこととなります。その中で皆さんがどのような道を歩むのかは分かりませんが、様々なことに興味を持ち、何事にも積極的にチャレンジして欲しいと思います。アルバイトやサークル活動、研究・

勉強はもちろんのこと、自分の興味のあることについても理解を深めるといいと思います。例えば、同じような分野に興味がある人と勉強会を開いたり、海外に行ってみたりと考えている人は英語の勉強をしたり、留学生と交流するのも面白いと思います。いろいろな活動を通して良い経験や仲間が得られることでしょう。

大学生活では多くのチャンスが転がっています。しかし、受け身ではせっかくのチャンスを逃してしまいます。自分から動くことは非常に気力のいることですが、一歩踏み出せば期待以上の結果が得られることもあります。ぜひ、積極的に行動して充実した大学生活を送ってください。



Message

先輩より

いつかとおる道

環境社会基盤工学専攻2年(苫小牧工業高等専門学校出身) 金子 祐之介 Kaneko Yunosuke

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。突然ですが、この原稿を書いている私は今、就活生です。入学したばかりの皆さんにとって「就職」は遠い未来の出来事かと思えます。しかし、現実の就活は、想像よりもすぐに訪れます。そこで皆さんには、大学生活を充実させ、少しでも就活の助けとなるアドバイスを2つお伝えしたいと思います。

ひとつは「熱中できる何か」をみつける事です。何かひとつでも究めていることがあると、それが自信となり、就活での大きな武器となると思えます。欲を言えば、賞などの実績があると、成果がより鮮明となります。

もうひとつは、「研究室選び」です。どのような研究をしてきたかは、企業選びの一つの指標となることが多いように思います。きっとあなたも、少なくとも一般の人よりは特定分野でのエキスパートになるはず。理系では、研究内容を重視の採用をする企業も多くあります。もちろん、

就職するために研究するわけではありませんし、研究の内容にあうような就職先にしなればいけないルールもありません。しかし、将来自分の働く姿を少しイメージしながら、研究室を選ぶのも悪くないと思います。

ぜひ、なりたい自分になる為に参考にして下さい。皆さんのこれからの、充実した大学生活となることを祈ります。



研究室の作業風景



Message

専攻長より

未来はあなたを待っている

生物機能工学専攻長 教授 城所 俊一 Kidokoro Shun-ichi

入学おめでとうございます。この4月から生物機能工学課程・専攻のメンバーとなる皆さんを心から歓迎します。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催の年ですが、地球温暖化による異常気象や新型コロナウイルス感染拡大などで、世界中から集まってくるアスリートたちが競技に集中できるか、また我々も彼らのパフォーマンスを安心して楽しむことができるのか心配になってくるような状況です。実際、これらの問題は、これから人類が地球上で幸福に生活し続けてゆくためには、なんとしてでも解決してゆかなければならない問題の一部なのです。もちろん、解決のためには、様々な分野の専門家の貢献や協力が必要ですが、その中心になると期待されているのは、皆さんがめざすバイオエンジニアです。

生物は地球上で生まれ、長い時間をかけて進化してきた、信じられないほど不思議で緻密なシステムです。人類は最近になって、ようやくその秘密のほんの一部を理解し始めたところなのです。その成果である、「iPS細胞」や「ゲノム編集」の技術などは、新聞などで存知のことと思います。生物の秘密を理解し利用することで、バイオテクノロジーは近年急速に進展しているのです。皆さんは、本学での学びや様々な活動を通して、これらの生物に関する知識や技術を確実に自分のものとして下さい。そして、やがて、自ら新しい発見や技術開発を行い、様々な地球規模の問題を解決できるバイオエンジニアに育ってほしいと、心から願っています。未来の世界は皆さんの活躍を待っています。



Message

専攻長より

地球規模の課題に挑戦する
大志を抱こう

情報・経営システム工学専攻長 教授 李志東 Li Zhidong

新入生の皆さん、おめでとうございます。ようこそ、長岡技術科学大学へ。ようこそ、情報・経営システム工学課程・専攻へ。

皆さんは厳しい受験戦争を勝ち抜いて、期待と不安を持ちながら入学してきたと思います。高校までの生活と違って、「大学」は「一人」の大人として責任を持って、主体的に勉学や生活等に取組む場です。新生活への不安を減らし、期待を膨らませるためには、自助努力が不可欠です。同時に、自ら学友や教職員等に相談し、他力を借りることも必要です。

教員として、皆さんに期待したいのは、本学から地球規模の課題に挑戦する大志を抱くことです。

例えば、地球温暖化防止はその課題の1つです。温暖化は主に化石燃料起源の二酸化炭素の排出による気温上昇の問題です。何の手も打たなければ、地球はやがて人間がインフ

ルエンザに罹ったような高熱に襲われ、破滅に向かうとされています。解決するには、脱炭素しかありません。2種類の技術が必要です。1つは工学の意味でのハード技術です。日本のお家芸ともいえる省エネルギー技術を更に磨く一方、炭素排出のない再生可能エネルギー利用技術を創出することです。もう1つは、ソフトウェアとしての制度設計技術です。ハード技術がいくら優れても、使われないと炭素削減に役立たないし、産業振興にもつながりません。そればかりか、技術優位性を維持するための研究開発資金も調達できなくなります。最新技術の普及を促す政策や枠組み、制度を設計しなければなりません。

本学の強みの1つは、この2種類の技術開発に同時に挑戦していることです。皆さんと共に様々な世界的課題に挑戦することを楽しみにしております。



Message

先輩より

新入生の皆さんへ

生物機能工学専攻2年(長岡工業高等専門学校出身) 佐野 英美 Sano Emi

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新たな環境での生活に期待と不安を抱いていると思います。大変なことも多々ありますが、新しい友人と出会い、新しいことにチャレンジする良い機会になると思います。

本学の大きな魅力として、4ヶ月間の実務訓練があります。私は、理化学研究所で研究を行ってきました。その中で新たな知識や、研究に対する姿勢を学びました。また、実務訓練を通して自分の成長を感じ、自信をもって修士課程に進むことができました。本学でなければできない貴重な経験でした。

大学生活の中で一番重要なことは、

目標を持つことだと思います。大学生活は、自由な時間が増えます。この時間をどう使うかによって、充実した生活が送れるかどうかが決まります。目標を持っているのと、なんとなく日々過ごしているのでは、大きな差が出ます。私は、「期待は裏切る。予想は超える。」という言葉を意識して過ごしています。どんなことでも、やるなら予想の斜め上を目指して取り組むことを心掛けるようにしています。一生のうち、学生生活はとても短いです。だからこそ、皆さんも何か1つ目標を持って、充実した日々を過ごせるように願っております。



Message

先輩より

長岡で楽しい生活を!

情報・経営システム工学専攻2年(和歌山工業高等専門学校出身) 松本 魁人 Matsumoto Kaito

ようこそ、長岡技術科学大学へ。新入生の皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

長岡技大に入学した皆さんは、長岡での新生活に期待を寄せていることと思います。私も、雪が降る地域での生活に憧れを持って入学したことを覚えています。私は、和歌山高専から長岡技大へ3年次編入で入学しました。そうした事情もあり、入学当初は少なからず不安もありました。多くの方は雪が降る地域での生活は経験がないと思います。長岡では、例年冬になると雪かきが必要なほど雪が降ります。そのため、景色を楽しんだり、ウィンタースポーツを楽しんだりと様々な経験をすることができます。さらに、夏には日本三大花火大会の1つと呼ばれる長岡まつりの花火を間近で見ることができ、1年を通して様々なイベントがあります。大学での勉強の息抜きに、新しく長岡でできた仲間たちと一緒に大学生活を楽しく過ごしていた

だきたいと思います。多くの方にとって最後の学生生活が実りあるものになることを願っております。

最後に、毎年積雪による大小さまざまな自動車事故の話をよく耳にします。皆さんには十分注意して健康な学生生活を送っていただきたいと思います。



長岡市内旅行の様子



Message

専攻長より

充実した在学期間を

原子力システム安全工学専攻長 教授 江偉華 Jiang Weihua

ご入学おめでとうございます。原子力システム安全工学専攻教職員を代表して、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

本学の原子力システム安全工学専攻は、設置されてから八年間が経っています。原子力安全マネジメント、次世代エネルギー源、加速器技術及び放射線応用などに関する研究活動を展開しながら、基礎学習から実践トレーニングまでの教育カリキュラムを編成しています。国際感覚の養成と実務経験の蓄積を重視し、広範囲の人材育成を行っています。皆さんが将来21世紀の主役としてどこでも活躍できるように

最大限にサポートします。皆さんは夢と抱負を持って、これから充実した在学期間を過ごしましょう。

知識を学ぶために大学に来ていますが、実際学ぶのは決して専門知識だけではありません。技術者としての資質は、多方面の要素から成り立っています。高度技術者を目指す皆さんは、在学期間を通じて、専門知識を身に付けると同時に、指導力、協調性、コミュニケーション能力を養う必要があります。皆さんの将来にとってこれからの在学期間は極めて貴重なもので、有効に利用しましょう。



Message

専攻長より

システム安全

システム安全専攻長 教授 門脇敏 Kadowaki Satoshi

ご入学おめでとうございます。技術経営研究科システム安全専攻を代表して、新入生の皆様にお祝い申し上げます。

社会人学生のみを対象とした本専攻では、安全技術とマネジメントスキルを統合して応用するシステム安全を体系的に教授し、安全に関する諸課題を解決する実務能力を有する専門職の育成を目的としています。新入生の皆様には、社会人としての仕事を熟しつつ、深い学識と卓越した能力を培っていただきたいと思ひます。

国際標準でもあるシステム安全の重要性は、技術の高度化や複雑化、事業活動の大規模化、組織や企業の活動に対する社会的諸要請の強まり等に伴い、以前にも増して高まっています。国際市場における競争力の源泉は、安全に係わる国際標準です。これに対応するには、安全であることを保証するシステムを国際標準に基づいて構築すること、並びに第三者の認証を得てそれを証明できることが不可欠です。あらゆる分野におい

て、安全であることを保証するシステムの構築が必要となります。

経験的安全構築が困難な新技術を社会実装するには、論理的安全構築による我国独自の規格制定が必須となっています。従来の欧米規格へのキャッチアップから脱却し、安全規格で世界をリードすることが、我国発展のための歩むべき道となっています。新たな規格を制定するには、そのスコープにおける現象の理解とメカニズムの解明が不可欠です。そして、規格内容の本質を見抜くには、単なる知識に留まらず、深い洞察力が重要です。我国発の国際規格を制定し、安全な製品・サービスを提供するには、精深な学識、論理的思考力および創造力が必要となります。

新入生の皆様には、本専攻においてシステム安全を体系的に学ばれ、精深な学識、論理的思考力および創造力を養われることを強く希望いたします。

Message

先輩より

有意義な大学生活を

原子力システム安全工学専攻2年(長岡工業高等専門学校出身) 芝田 陵大 Shibata Ryodai

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。

入学したばかりの皆さんは、環境の変化に期待や不安を感じながら新生活をむかえていることと思います。そんな皆さんに有意義な大学生活を送る上で大切にしたいことがあります。それは、様々なことにチャレンジすることです。大学は高校や高专に比べて自由な面が多く、自分で判断し行動することが増えていきます。それは、講義やサークルそして研究室など自分の人生につながることで、これからたくさんの選択をしていかなければいけません。本学は学生を成長させてくれる多くの機会を提供してくれます。しかし、自分自身で行動しなければチャンスを得ることは難しいです。特に、本学の「実務訓練」は大きな成長を得

られる機会です。私自身、この実務訓練で海外を選択したことは大きなチャレンジであったと思います。最初はまったく右も左もわからない状況で、不安でいっぱいでしたし、慣れない土地での生活で体調を崩すこともありました。しかし、知識、経験を得ることができたとても貴重な体験となりました。この体験は修士課程へ進むに当たっての自信にもつながっていると思います。

実務訓練を一例として挙げましたが、他にも皆さんは様々な経験をすることができるでしょう。大学生活という時間はいくらもあることを経験したり、挑戦したりすることに適した時間はないと思います。積極的に行動し、楽しくて実りある大学生活を送ってください。

Message

先輩より

「安全」と本気で向き合う

システム安全専攻2年 (ジビエラボラトリー株式会社/山口大学大学院MOT出身) 土谷 典子 Tsuchiya Noriko

新入生の皆様、社会人としてシステム安全専攻をご希望されご入学おめでとうございます。

システム安全専攻コースは、機械・電気などだけでなく「安全」を俯瞰し事業経営を継続するためにあらゆる場面においてリスクアセスメントの重要性を学びます。私は事業経営者です。機械・電気の専門ではありません。

しかし、現在住んでいる広島県から新潟県の本コースを選んだ理由は、事業経営継続するためには、どうしても「安全」を維持することが厳守であり、自社の「安全」を創り上げる必要性があったため、日本中の学校の中から唯一本コースが専門コースとして存在していたためです。「安全」とは、事業経営には必須です。労働安全・品質安全・安全衛生など、今日に至るまで世界の中でどのように確立し

ていったかの経緯や、基準・規格など夫々のエビデンスを踏まえて学びます。「安全」は、事業者の継続を左右する大きな基準です。

また、本コースは、豊かな経験を持たれた教員のご指導を受け、全国から集まれる様々な業種の生徒の皆さんと意見を交わす学びの深い2年間となることでしょうか。土日曜日の週末のお休みが両日共に授業にあたり、卒業できるかと心配もあることでしょうか。しかし授業が始まれば、一気にその不安は、なくなりご指導いただく授業の内容に留まらず、経験豊かな知識を存分に受け止められる人生の中で最も豊かで貴重な2年間の時間となります。このコースは、日本中で唯一「安全」に対して本気で向きあい人生を豊かに実らせる専門コースです。



Message

専攻長より

GIGAKUで国際社会に イノベーションを!

技術科学イノベーション専攻長 教授 小林 高臣 Kobayashi Takaomi

入学おめでとうございます。技術科学イノベーション専攻は修士一博士を一つにした5年一貫性の教育を特徴としており、社会にイノベーションを起こす能力を持つ人材輩出を目標に設立された専攻です。このため、活躍が期待される情報、エレクトロニクス、制御、エネルギー、環境、材料の分野の垣根を取り払い、多様な教育・研究環境のもと、オープンイノベーションスタイルの体制で、独創的・実践的な高度な専門能力を、学生諸君に育む環境があります。特に本学のSDGs解決に資するイノベーション人材育成プログラム、MBA取得プログラム、海外リサーチインターンシップなど、本学にない新たなコースを組み込み、学生諸君をイノベーターに育成する努力をして

います。また、昨年度より、文部科学省卓越教育プログラム「卓越大学院グローバル超実践ルートテクノロジーコース」が本専攻内に設立され、これにより「情報工学」、「電力工学」、「材料科学」の融合分野(ルートテクノロジー)で将来の根幹となる実践技術者コースも魅力です。本専攻の学生は入学料、授業料の不徴収に加え、月にリサーチアシスタント費用が受給されますので、また修士論文を書く必要性がなく、5年間で、研究やそれに必要な社会活動に十分時間を割くことができる利点があり、学生諸君の主体的チャレンジを支援する環境が準備されています。皆さんの本専攻へのチャレンジを教員一同待っています。



Message

先輩より

チャンスをつかめ!

技術科学イノベーション専攻3年(長岡工業高等専門学校出身) 茨木 彩乃 Ibaraki Ayano

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんがこれから過ごす長岡技大の魅力の1つに、やりたいことを学ぶ環境があるうえで、社会に出ても役立つ人材となれるということがあります。今まで学んできたことを無駄なく生かし多様な分野や文化を学べるカリキュラムとなっているためです。本校には自分が興味を持ったことを積極的に試せる環境と設備があります。また、分野を横断して授業受けることも可能で他大学との単位互換制度もあるので、学びの場は学内に留まりません。さらに、本校では学部4年次に海外の大学・企業に長期インターンシップに行くチャンスがあります。こ

れらのチャンスから多くの友人や素晴らしい体験、一生忘れられない思い出が得られるはず。研究以外にも多くのことに興味を向け、チャレンジしてみてください。それらの経験がモチベーションとなり研究の成功にもつながると思います。

普通に生活していたら簡単には得られない経験をする機会や成長のチャンス、面白いこと、人との出会いが技大にはたくさん転がっています。様々なことに恐れずに飛び込み、楽しい大学生活と一緒に送りましょう。皆さんがこの長岡で多くの友人、楽しい思い出を作れることを願っています。

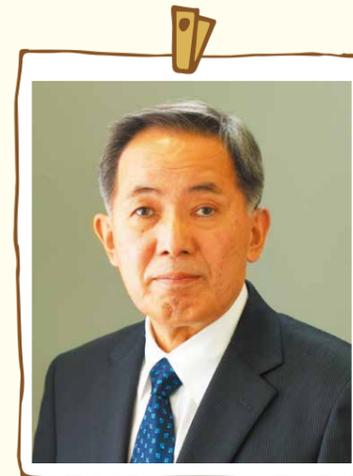
シリーズ

全国高専めぐり

第四十四回
米子工業
高等専門学校

米子からひらく 令和の新時代

独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校 校長 寺西 恒宣
Teranishi Tsunenobu



*

米子工業高等専門学校は、鳥取県西部地域唯一の工科系高等教育機関として、昭和39年に設立され、現在、本科5学科(機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、物質工学科、建築学科)、専攻科3専攻(生産システム工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻)から構成されています。この地域は、古くから山陰地方の商業都市として発展してきたところであり、また良質の砂鉄が採取されることから「たたら製鉄」が栄えたところです。名探偵コナンやゲゲゲの鬼太郎の作者出身の地としても有名です。

本校はこのような特色ある地域において、地域との協働教育や共同研究、キャリア支援を積極的に行い、広く社会貢献できる優秀な技術

者をこれまで多数輩出してきました。近年では、新産業を牽引する人材育成や地域への貢献を目的に、KOSEN4.0イニシアティブとして、「第4次産業革命対応型医工学連携教育システムの構築」「新時代のジェネリックスキル養成のためのリベラルアーツ教育」「山陰とっとり・しまねの企業とつくる女性技術者活躍推進プログラム」を遂行し、さらにグローバルエンジニア育成を目的にTOEICやビタテ!留学JAPANに力をいれています。また、ロボコンだけでなくデザコンやプロコンなどへの参加を応援しています。

米子工業高等専門学校URL:
<https://www.yonago-k.ac.jp/>



デザコン2019 最優秀賞を2部門で受賞



全国最大規模の進路研究セミナー



校舎風景

米子高専 から 長岡技大へ

専攻科からの入学



機械創造工学専攻 1年

伊藤 大輝 Ito Taiki

米子工業高等専門学校
専攻科生産システム工学専攻
平成31年3月卒業

米子高専では、近年、医工連携(医療と工学の連携)に力を入れています。専攻科では創造実験という科目があり、実際に病院に行って需要を聞き、製品を作って病院の先生に紹介するというものでした。専門的な知識の必要性和利用者の視点から物事を考える重要性を学びました。本学は同じ分野を勉強してきた高専からの入学者が多いため、専攻科からの入学でもなじみやすいと感じました。先輩や学部の卒業生からアドバイスをもらうことで、講義の履修なども安心できました。また、

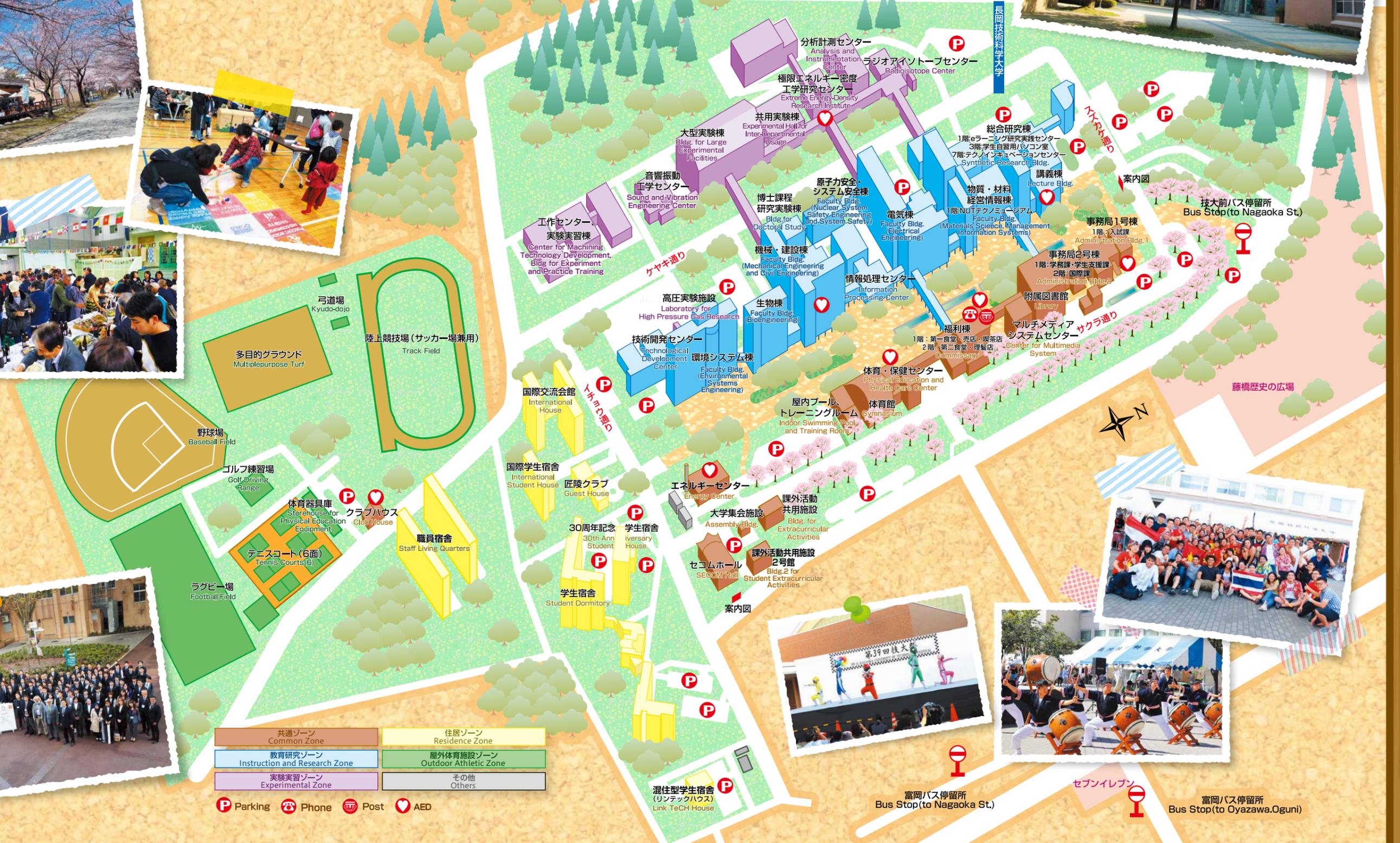
本学では学外のイベントへの案内が盛んで、参加しやすい環境にあると思います。私はメカトロテックに参加し、様々な企業の新製品の見学や製作体験をすることができました。



Fig.2 メカトロテックに参加している様子

Campus Map

キャンパスマップ



共通ゾーン Common Zone	住居ゾーン Residence Zone
教育研究ゾーン Instruction and Research Zone	屋外体育施設ゾーン Outdoor Athletic Zone
実験実習ゾーン Experimental Zone	その他 Others

P Parking Phone Post AED

早い! 安い! 旨い!

三拍子揃った第1食堂

第1食堂には座席が340席あり、主なメニューは和食・中華・麺類です。価格は市価よりも廉価で、栄養面も配慮しています。本号では、第1食堂の人気メニューをご紹介します!

不動の人気
No.1



油そば 350円 (税込)

酢、ごま油、ラー油を入れて、よ〜くタレを混ぜて!
温玉トッピングもオススメ! 自分好みの味を見つけてください。

こちらも
大人気メニュー!



メガチキン南蛮 250円 (税込)

240グラムの鶏肉で作ったチキン南蛮。ご飯が進む味付けで、ボリューム満点! お腹も心も満たされる一皿です。

朝食限定メニュー



朝カレー 250円 (税込)

朝食にカレーを食べることによって、集中力や記憶力が高まると言われています。ポーク、チキンから選べます。



190円定食 (税込)

ご飯/パン、主菜、副菜、みそ汁、サラダ、ドリンクの6点セット!
品数が豊富なのでバランス良く食べられます。この他、110円朝食もあります。

朝食	8:00~9:30	朝食セレクトメニュー(190円&110円)
	8:00~11:00(平日のみ)	朝カレー
昼食	11:00~14:00(夏期休業期間 11:00~13:30)	
夕食	16:00~19:00(夏期休業期間 16:30~19:00)	

※季節により営業時間が変更になる場合があります。詳しくは本学公式HPをご覧ください。
※学外の方もご利用いただけます。

麺コーナーを除き、260円以上のお味噌汁無料です! ご来店お待ちしております!



渡辺店長

他の福利施設についても、今後紹介予定です! お楽しみに!

編集後記

私は広報誌VOSの編集長を3年間(＋副編集長を1年)担当しました。今号が私の最終号です。大学広報誌は様々な制約がある中で企画を考え、人に執筆を依頼する難しさがあります。また広報活動は研究と違って品質評価が困難で、あまり報われる感覚のないという意味で大変な仕事です。ただそんな中でも時々いただく反響には励まされました。今後は新編集長が本学の研究レベルの高さや人の温もりを感じられる広報誌をきっと作ってくれるでしょう。私は純粋に一読者の立場で次号を楽しみにしています。(山本和英)

VOSの由来 本学のモットーである、Vitality, Originality, Servicesの頭文字をとって、本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。



VOS NO.213 [令和2年4月号]
編集発行 長岡技術科学大学広報委員会

◎本誌に対するご意見等は下記までお寄せ下さい。
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
TEL. 0258-47-9209 FAX. 0258-47-9010 (大学戦略課)
E-mail : skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp URL : https://www.nagaokaut.ac.jp/

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。